

令和6年1月31日  
北九州市産業経済局

報道機関各位

2月15日開催

# 「北九州DX大賞 表彰式」開催！

～西原商事ホールディングスなど市内中小企業7社が受賞～

中小企業の労働生産性は大企業と比較して半分程度に留まっており、生産性や企業の付加価値を上げていくためには、DX（デジタルを活用した変革）に取り組み、事業変革や新ビジネスの創出を行っていくことが重要です。

北九州市では、令和2年度よりDX支援の取り組みを進めており、経済産業省が中堅・中小企業におけるDX好事例を選定するDXセレクションにおいて、これまで全国から8社が受賞している中、北九州市の企業から3社が選定されているなど、モデルとなる企業が生まれ始めています。

このようななか、北九州市は新たな取り組みとして、DXで事業変革する市内中小企業を表彰する「北九州DX大賞」を創設しました。この制度により、地域をけん引するモデル企業を創出するとともに、それに続くような企業のすそ野拡大を図ります。

第1回目となる今年度は、9月11日(月)～10月27日(金)の間で募集を行い、有識者による審査を踏まえ、受賞企業7社を決定しました。つきましては、受賞企業の表彰式および取組内容の事例発表を、令和6年2月15日に開催しますのでお知らせいたします。

## 記

- 1 日時 令和6年2月15日(木) 13:00～14:00
- 2 場所 北九州国際会議場メインホール(小倉北区浅野3丁目9-30)
- 3 内容
  - ・受賞企業7社による取組内容発表
  - ・北九州市長より受賞7社へ表彰状授与
  - ・北九州市長より挨拶
  - ・記念撮影

## 4 受賞企業

グランプリ	(株)西原商事ホールディングス	廃棄物管理システムの全国展開
準グランプリ	(株)戸畑ターレット工作所	製造業DX支援を新事業として展開
	松本工業(株)	独自工法等によるメーカーへの変革
優秀賞	(株)EVモーターズ・ジャパン	人の経験に頼らない工場稼働
	クラウン製パン(株)	効率的な経営のための社内システム構築
	(株)ケントク	労働者の健康管理・安全管理システム開発
	(株)ハピクロ	保育業界のDX推進コンサルティング

■受賞企業各社の取組概要

【グランプリ】

	取組	審査員講評（抜粋）
(株)西原商事 ホールディングス	自社の業務の生産性向上を実現するだけでなく、これをサービスに発展。ビジネスの範囲が北九州市内だけに留まらず、全国への展開を実現している。近年では脱炭素などにも資するサービスへとさらに展開を続けており、DXだけでなくGX（グリーン・トランスフォーメーション）に向けて自社の変革を続けることで、社会課題の解決にも取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の事業をDXにより、社会課題である循環経済の領域解決まで目指していることが評価。北九州DXモデルの一つの例として、全国に誇れるものになるのでは？</li> <li>・DXが注目される前から廃棄物業界でデジタル化を推進し、新たなサービスに発展させたDXの先駆的企業。</li> </ul>

【準グランプリ】

	取組	審査員講評（抜粋）
(株)戸畑ターレット 工作所	生産ラインの課題を、デジタル技術により解決。その中での経験・ノウハウに基づき、自社だけではなく地域の活性化に貢献すべく、外部の組織とも連携し、地域の製造業DXにおけるけん引役として活躍。「製造業DXコーディネート」を新事業として立ち上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり中小企業として手本となる優れた取組。地域社会への波及効果の方策も優れており、北九州市の企業への波及効果も大きい。</li> <li>・IoT実践のリーダーとしての活動は他社に好影響を与え、素晴らしく思う。実績もあり今後もさらに進化するイメージもわく。</li> </ul>
松本工業(株)	主力事業の自動車部品メーカーからの加工受託が抱えている課題に対して、デジタル技術をフルに活用し、脱炭素にも資する独自の溶接レス工法やスマートファクトリー生産システムの開発に取り組むことで、自ら市場を開拓できるメーカーへの変革に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業並みの非常に整理されたデジタル化システムの構築が計画。課題解決に向けた戦略も明確。人材育成にも配慮されている。</li> <li>・品質管理・生産性などの領域にも寄与できるDXを目指している。全体最適を目指した一つのケースになり得る。</li> </ul>

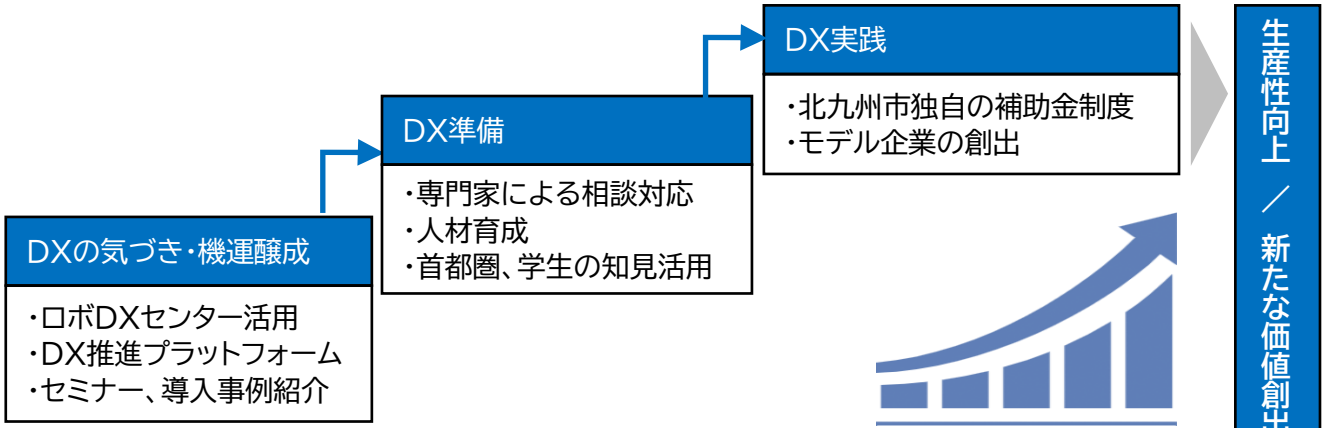
【優秀賞】

	取組
(株)EVモーターズ・ ジャパン	高品質なEV製品およびマネジメントシステムの提案およびEV活用による社会的合理性の確立に向けた、人の経験に頼らない工場稼働や独自技術の確立による優位性の確立。
クラウン製パン(株)	衛生管理や深刻な人手不足に対して、効率的な組織経営を実現するために、経営者や管理層が事業活動の状況を把握し適切に指示できる社内システムを構築。
(株)ケントク	労働者の健康管理・安全管理・情報共有を効率的に実施するとともに、これをシステムとして同じ地方建設業界に展開していくことで、建設業界の活性化を図る。
(株)ハピクロ	保育の実務を補助する機器およびシステムを自社で開発することで、職員の実務負担を軽減。このサービスを用いた保育業界のDX推進コンサルティング実施による保育業界従事者の労働環境改善の促進。

## ■北九州市のDX施策

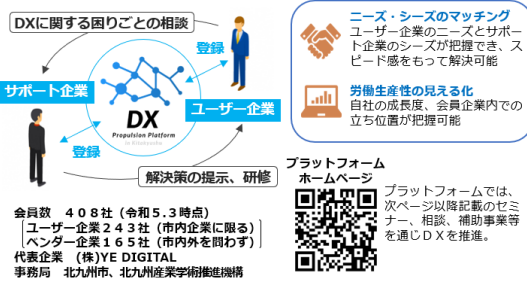
DXの気づきから、専門家によるアドバイスや診断、人材育成、実践時の補助金制度など、切れ目のない伴走支援体制を構築することで、北九州市からDX実践企業を多く生み出し、市内企業の生産性向上および新たな価値創出を実現していきます。

なお、本取組は地域課題の解決や住民の暮らしの利便性と豊かさの向上、地域の産業振興につながる自治体のデジタル技術を活用した取組を表彰する「夏のDigi田甲子園」において、内閣総理大臣賞・優勝を受賞するなど、評価を頂いているところです。多くの北九州DX受賞企業も本施策を活用されています。



### DX推進プラットフォーム

DXを推進したい市内ユーザー企業とデジタル化やデータ活用等を提案できるサポート企業をつなぐプラットフォームを創設(令和2.12)。408社参加



### 北九州市ロボット・DX推進センター

令和4年4月に、北九州学術研究都市に北九州市ロボット・DX推進センターを開設。これまで以上に市内企業のロボ導入・DX実践に向けた支援を加速。

#### ロボット・DX推進センター

場所	北九州学術研究都市 (技術開発交流センター1階)
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産性向上に関する啓発</li> <li>●相談対応やアドバイス</li> <li>●ロボット、IoT、デジタル化などの先端技術の導入支援</li> <li>●人材育成支援</li> <li>●地域企業とベンダー、市内大学との連携促進</li> </ul>
拠点の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>①導入総合支援機能 DXに向けた総合的な導入支援を実施</li> <li>②体験機能 デジタル技術やロボットなどを気軽に体験</li> <li>③人材育成機能 企業向け人材育成、大学生のインターンシップ型アルバイト</li> <li>④集い、つながりの場 地域企業、Sier、大学、金融機関等の集いの場を創出</li> </ul> <p>※産学官金の連携による充実化を図る</p>

### 人材育成支援

地域企業の人材育成は重要。経営者のマインドセット、企業内人材の育成に加え、首都圏人材、地元大学の知見も有効活用し、企業のDXを進めていく。

<p><b>社内人材育成</b></p> <p><b>経営者のマインドセット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次産業革命への対応力を経営トップ自らが検討できる</li> <li>・日本で唯一のビジネススクール開催</li> <li>・70人以上受講</li> </ul>	<p><b>企業内人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場リーダー・従業員を対象にデジタル、IoTを学ぶ講座開催</li> <li>・1万円以下で導入できるラスベリパイなど取り組みやすいテーマ講座を通して、DX実践につなげていく</li> </ul>
<p><b>社外人材活用</b></p> <p><b>首都圏人材活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ事業を実施</li> <li>・令和3年度新規事業</li> <li>・不動産DX、事業再構築DXなど20件以上の案件創出を目指す</li> </ul>	<p><b>地元大学活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有給インターンシップでは、企業のデジタル化の課題を、ITに強い地元大学生が解決。</li> <li>・企業のDX推進と学生の成長の双方の実現に寄与。地元企業を知ることで学生の地元就職も期待。</li> </ul>

### DX推進補助金

ユーザー向け補助金制度。社員教育や事前検討、システム導入まで網羅的に補助。専門コンサルによる伴走支援も実施。令和2年度26件、3年度47件、4年度81件の支援実施。

補助金種類	デジタル化枠	DXモデル育成枠	DXモデル枠
概要目的	生産性向上を図るため、市内中小企業が実施するDXの各種取組み経費の一部を補助。	社内の業務効率化から始めたい事業者向け	ビジネスモデル革新に向けた戦略策定から始めたい事業者向け
交付上限	最大80万円	最大200万円	最大500万円
補助率	対象経費の1/2以内	対象経費の2/3以内	対象経費の2/3以内
対象経費	人材育成・教育経費、製品サービス開発経費、システム導入・環境整備・その他付帯経費		

### 【問合せ先】

産業経済局 次世代産業推進課

担当:大庭(課長)、佐藤(担当係長) 電話:093-582-2905